

■殺菌剤：農業用

ピリジナミン系

フロンサイド®粉剤

登録番号：22632

毒性：—

消防法：—

有効年限：5年

成分 フルアジナム……0.5%

物理的・化学的性状 類白色粉末

包装：3kg×8 20kg×1

◆特長

- 抗菌スペクトラムの広い土壌殺菌剤です。
- 既存剤が効きにくい、根こぶ病にも優れた効果があります。

◆適用と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農業の総使用回数
ばれいしょ	そうか病 粉状そうか病	30～40kg/10a	植付前	1回	全面土壌混和	6回以内 (種いも浸漬は1回以内、植付前の土壌混和及び植付時の植溝散布は合計1回以内、植付後の散布は4回以内)
キャベツ	根こぶ病	15～20kg/10a 30～40kg/10a	は種 又は 定植前	2回以内 (苗床では 1回以内、 本圃では 1回以内)	作条土壌混和	3回以内 (苗床では1回以内、 本圃での土壌混和 は1回以内、土壌 散布は1回以内)
	苗立枯病 (リゾクトニア菌) 菌核病	40kg/10a			全面土壌混和	
カリフラワー ブロッコリー なばな	根こぶ病	15～20kg/10a	は種 又は 定植前	1回	作条土壌混和	1回
なばな類 (なばな、みずかなを除く) メキャベツ かぶ		30～40kg/10a				
こまつな	根こぶ病 立枯病 (リゾクトニア菌)	30kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	1回
みずな みぶな	根こぶ病	30～40kg/10a	は種 又は 定植前	1回	全面土壌混和	1回
非結球あぶら な科葉菜類 (ただし、ケール、 こまつな、みずな、 みぶな、のざわな を除く)						

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農業の総使用回数	
のざわな	根こぶ病	30～40kg/10 a	は種 又は 定植前	1回	全面土壌混和	1回	
		20kg/10 a			作条土壌混和		
はくさい	根こぶ病 黄化病	15～20kg/10 a			30～40kg/10 a	全面土壌混和	2回以内 (土壌混和は1回 以内、土壌散布 は1回以内)
		レタス 非結球レタス					
みずかけな	根こぶ病	40kg/10 a				作条散布	1回
ねぎ	白絹病 小菌核腐敗病	15kg/10 a	土寄せ時 但し 収穫21日前 まで	2回以内	株元散布	2回以内	
			にら				白絹病
てんさい	叢根病	育苗培土 1kg当り 5～10g	は種前	1回	土壌混和	5回以内 (は種前の土壌混和 及び苗床灌注は合計 1回以内、株元散布 は4回以内)	
らっかせい	白絹病	20kg/10 a	収穫45日前 まで		株元散布	1回	
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)	30～40kg/10 a	は種前		全面土壌混和		7回以内
チューリップ	葉腐病 条斑病 微斑モザイク病		植付前				
ゆり	茎腐症 (リゾプス菌による)	40kg/10 a				定植前	

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 本剤を使用する場合、砕土をよく行った後所定量の薬剤を均一に散布し、土壌と十分混和すること。なお、降雨直後の処理は混和むらの原因となるので避けること。
- 根こぶ病を対象に本剤を多量に使用すると、初期生育が抑制される場合があるので、適用薬量の範囲で使用すること。
- はくさいの黄化病、ばれいしよのそうか病、粉状そうか病、キャベツの苗立枯病(リゾクトニア菌)、菌核病、レタスのビッグペイン病に対する本剤の全面土壌混和及びねぎの小菌核腐敗病に対する土寄せ時株元散布は、多発生条件では効果が劣る場合があるので注意すること。
- レタスの茎葉に本剤が多量にかかると薬害を生じる恐れがあるので、付近にある場合は注意して散布すること。
- てんさいに使用する場合、誤って多量に処理すると初期生育が抑制される恐れがあるので適用薬量の範囲を厳守すること。

- (7) みずかけなに使用する場合、水掛け開始は薬剤処理後2ヶ月以降を厳守すること。
- (8) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- (9) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (10) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、農業改良普及センター、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (11) 取扱い及び保管上の注意、漏出時の措置、廃棄上の注意、輸送上の注意、火災時の措置については、11ページ、12ページを参照すること。

◆安全使用上の注意

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (2) 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。また、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (3) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (4) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (5) 苗床で本剤を使用し、その苗を採苗、定植する場合には、必ず手袋を着用して作業を行い、直接苗に触れないよう注意すること。

◆魚毒性

水産動植物（魚類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。